



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 株式会社 トラスト

上場取引所 東

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 誠英

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 長谷川 克彦

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	11,662	19.1	1,056	34.2	1,003	27.3	407	40.1
25年3月期第3四半期	9,788	25.1	787	22.6	788	30.8	290	47.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 600百万円 (27.8%) 25年3月期第3四半期 469百万円 (50.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	15.73	—
25年3月期第3四半期	11.23	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	17,013	5,205	25.7	169.10
25年3月期	15,458	4,672	26.2	156.22

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,375百万円 25年3月期 4,042百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	100.00	—	140.00	240.00
26年3月期	—	120.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.40	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期(予想)の期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,620	17.2	1,480	30.9	1,400	24.4	574	36.9	22.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	28,150,000 株	25年3月期	281,500 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,273,100 株	25年3月期	22,731 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	25,876,900 株	25年3月期3Q	258,769 株

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2) 当社は、平成25年8月19日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株といたしました。これに伴う平成26年3月期の配当予想及び連結業績予想につきましては、該当項目をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年からの円安・株高の進行に伴う企業収益の改善に加え、企業の設備投資や個人消費、輸出など幅広く持ち直し、景気回復の兆しが見られたものの、一方で消費税増税への懸念等、先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で為替リスクなく安定的な成長を続けるレンタカー事業、成長著しい南アフリカにて海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。また、レンタカー事業のレンタル車輛を、中古車輸出事業のWEBサイトを通じて販売するなど、グループシナジーを創出し、さらに、中古車輸出事業における将来の環境悪化にも対応すべく、中古車輸出事業のメインマーケットであるアフリカ地域において自動車ディーラーを運営しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高11,662百万円(前年同期比19.1%増)、営業利益1,056百万円(前年同期比34.2%増)、経常利益1,003百万円(前年同期比27.3%増)、四半期純利益407百万円(前年同期比40.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界全体の2013年輸出台数は116万台(前年同期比15.8%増)と好調に推移し、また円安の好影響により収益力が向上し、業界全体の景況感が向上しております。

このような状況のなか、当社グループは、車輛のラインアップ強化、現地自動車販売業者等へのB2B販売強化、WEBサイトの改善による利便性の向上などにより、多くの地域で輸出台数が前年を上回り、合計6,955台(前年同期比16.9%増)となりました。

また、メインマーケットであるアフリカ地域において、現地エージェントとの提携により対面販売及びアフターサービスを行うカスタマーサービスセンターを4店舗運営し、加えて、沿岸主要港から内陸主要都市への中古車陸送を代行手配するルートをも3ルート新規開設し合計10ルートとし、顧客満足度の向上に努めるとともに、アフターサービスの一環として修理部品の販売を強化いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高4,495百万円(前年同期比30.0%増)、営業利益285百万円(前年同期比64.3%増)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界全体では、レンタカー需要の高まりを受け事業者及び登録台数ともに年々増加し、市場規模が拡大しております。

このような状況のなか、当社グループは、継続的に直営・F Cの空白地域への新規出店を推進するとともに、TVCMの継続的な放映及び顧客満足度向上策の実施により個人顧客への販売強化を図りました。当期において直営店の佐久平店(長野県)、中津川駅前店(岐阜県)、F C店の宇都宮若松原店(栃木県)、岡山青江店(岡山県)、前橋店(群馬県)、宮古空港店(沖縄県)、久留米店(福岡県)、ポートアイランド店(兵庫県)、小浜店(福井県)、長岡店(新潟県)の合計10店舗を新規出店し、直営店及びF C店の総店舗数は111店、総保有台数は11,517台(前年同期比17.1%増)となりました。さらに、車輛の販売台数は806台(前年同期比21.2%増)となり好調に推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高4,775百万円(前年同期比12.7%増)、営業利益735百万円(前年同期比19.9%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国では旺盛な個人消費のもと、2013年の新車販売台数は65万台(前年同期比3.2%増)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国で、スズキディーラー3店舗、プジョーディーラー1店舗、フィアット・アルファロメオディーラー1店舗の合計5店舗を運営しております。平成25年5月には、ケープタウン市近郊のそれぞれ独立店舗であったフィアット・アルファロメオディーラー及びスズキディーラーの2店舗を併設店舗とし、経営効率の向上を図りました。また、当期は主要ブランドのスズキで新型車の投入がないなかで、新車販売のみに頼らない収益構造を構築すべく、中古車・サービス部門で継続的に経営改善を行っております。新車販売台数は合計597台(前年同期比15.5%増、内訳：プジョー64台、アルファロメオ2台、フィアット54台、スズキ477台)、中古車販売台数は合計1,005台(前年同期比5.8%増)と好調に推移しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,607百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益42百万円(前年同期比443.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて21.4%増加し、8,619百万円となりました。これはリース債権及びリース投資資産が1,197百万円、商品及び製品が303百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、8,394百万円となりました。これはリース資産(純額)が135百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて10.1%増加し、17,013百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.1%増加し、9,126百万円となりました。これはリース債務が1,276百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.4%増加し、2,681百万円となりました。これは長期借入金137百万円増加したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて11.4%増加し、5,205百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ134百万円増加し、670百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は2,108百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益994百万円、減価償却費1,629百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は181百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出160百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1,794百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出1,587百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたB2C販売を拡充するとともに、継続的にB2B販売先を新規開拓してまいります。また、現地でのアフターサービスの充実を図り、売上の拡大及び顧客満足度の向上に努めてまいります。さらに、国内外で左ハンドル車の仕入先を新規開拓し、右ハンドル地域以外への販売も拡充してまいります。

レンタカー事業につきましては、継続的に直営・FCの空白地域への新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。

海外自動車ディーラー事業につきましては、既存店舗の収益改善を継続的に行い売上の拡大及び利益率の向上を図ってまいります。

なお、平成25年10月25日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	536,425	670,560
受取手形及び売掛金	853,652	877,884
リース債権及びリース投資資産	3,966,614	5,163,794
商品及び製品	1,102,652	1,405,711
仕掛品	1,109	3,437
原材料及び貯蔵品	11,536	13,769
その他	633,663	488,133
貸倒引当金	△4,403	△4,219
流動資産合計	7,101,250	8,619,070
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	3,849,043	3,984,696
土地	2,846,640	2,888,980
その他(純額)	960,440	849,009
有形固定資産合計	7,656,124	7,722,685
無形固定資産		
のれん	123,426	117,651
その他	109,376	98,949
無形固定資産合計	232,803	216,601
投資その他の資産		
その他	485,558	470,995
貸倒引当金	△17,105	△15,873
投資その他の資産合計	468,452	455,121
固定資産合計	8,357,379	8,394,408
資産合計	15,458,630	17,013,479
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	509,639	537,053
短期借入金	780,000	590,000
1年内返済予定の長期借入金	296,768	223,984
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	5,732,164	7,008,320
未払法人税等	293,134	140,965
賞与引当金	78,597	39,944
その他	570,210	556,219
流動負債合計	8,290,514	9,126,487
固定負債		
社債	50,000	35,000
長期借入金	199,208	336,688
リース債務	2,203,338	2,239,219
役員退職慰労引当金	20,006	22,075
資産除去債務	13,037	15,263
その他	10,429	33,172
固定負債合計	2,496,019	2,681,418
負債合計	10,786,533	11,807,906

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	2,120,413	2,460,210
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	4,026,004	4,365,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,105	16,906
為替換算調整勘定	△3,509	△6,719
その他の包括利益累計額合計	16,596	10,187
少数株主持分	629,496	829,584
純資産合計	4,672,097	5,205,572
負債純資産合計	15,458,630	17,013,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	9,788,481	11,662,394
売上原価	6,960,710	8,397,399
売上総利益	2,827,771	3,264,994
販売費及び一般管理費	2,040,106	2,208,033
営業利益	787,665	1,056,961
営業外収益		
受取利息	2,902	8,355
受取配当金	6,898	8,098
投資有価証券償還益	—	9,895
補助金収入	62,910	—
その他	19,766	12,579
営業外収益合計	92,477	38,930
営業外費用		
支払利息	76,671	72,610
為替差損	2,149	8,967
その他	12,984	10,818
営業外費用合計	91,804	92,396
経常利益	788,338	1,003,494
特別利益		
助成金収入	3,981	—
貸倒引当金戻入額	458	—
特別利益合計	4,440	—
特別損失		
固定資産除却損	3,070	7,061
固定資産廃棄損	99	2,403
その他	814	—
特別損失合計	3,984	9,464
税金等調整前四半期純利益	788,794	994,029
法人税、住民税及び事業税	305,031	359,430
法人税等調整額	14,768	27,721
法人税等合計	319,800	387,152
少数株主損益調整前四半期純利益	468,994	606,877
少数株主利益	178,336	199,800
四半期純利益	290,658	407,076

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	468,994	606,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,022	△2,911
為替換算調整勘定	△4,105	△3,209
その他の包括利益合計	917	△6,121
四半期包括利益	469,911	600,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,126	400,666
少数株主に係る四半期包括利益	176,785	200,088

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	788,794	994,029
減価償却費	1,433,735	1,629,734
のれん償却額	4,918	5,187
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,096	△1,415
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23,587	△38,653
受取利息及び受取配当金	△9,801	△16,454
支払利息	76,671	72,610
為替差損益 (△は益)	△285	△522
固定資産除却損	3,070	7,061
投資有価証券償還損益 (△は益)	814	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△40,333	△24,634
たな卸資産の増減額 (△は増加)	148,059	△120,975
仕入債務の増減額 (△は減少)	△106,815	35,133
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5,536	△28,267
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△35,218	93,087
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△31,810	56,696
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	1,203	2,243
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	—	22,041
その他	1,123	2,260
小計	2,218,172	2,689,161
利息及び配当金の受取額	10,196	15,915
利息の支払額	△75,272	△70,796
法人税等の支払額	△381,829	△525,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,771,267	2,108,462
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△337,757	△160,866
有形固定資産の売却による収入	221	29
有形固定資産の除却による支出	—	△2,403
無形固定資産の取得による支出	△22,584	△26,257
投資有価証券の売却による収入	6,117	—
貸付けによる支出	△13,205	△10,698
貸付金の回収による収入	17,549	27,549
敷金及び保証金の差入による支出	△16,909	△16,714
敷金及び保証金の回収による収入	5,814	8,236
その他	△440	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△361,194	△181,112
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△54,600	△190,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△239,113	△235,304
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
配当金の支払額	△51,122	△66,898
リース債務の返済による支出	△1,367,739	△1,587,699
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,727,574	△1,794,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,953	1,687
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△323,454	134,135
現金及び現金同等物の期首残高	922,568	536,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	599,113	670,560

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,452,757	4,104,658	2,231,066	9,788,481	—	9,788,481
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,268	131,035	—	136,303	△136,303	—
計	3,458,025	4,235,694	2,231,066	9,924,785	△136,303	9,788,481
セグメント利益	173,800	613,520	7,746	795,067	△7,402	787,665

(注) 1. セグメント利益の調整額△7,402千円には、のれん償却額△4,918千円、棚卸資産の調整額△2,715千円、その他の調整額231千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,494,664	4,560,133	2,607,596	11,662,394	—	11,662,394
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,087	215,014	—	216,101	△216,101	—
計	4,495,751	4,775,147	2,607,596	11,878,495	△216,101	11,662,394
セグメント利益	285,539	735,899	42,094	1,063,533	△6,572	1,056,961

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,572千円には、のれん償却額△5,187千円、棚卸資産の調整額△1,385千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。